

える。また栽培に当たっては、登熟遅延回避のため多肥栽培は避け、必要穂数確保のため適正な栽培密度にするよう努める。なお試験の結果、栽培適地として1984年（昭59）に上川北部、留萌北部および十勝全域、1985年（昭60）に網走管内が追加されたが、成苗を用い、熟期を早めることが前提である。

試験場名	苗の種類	品 種 名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	成熟期における			10 a 当り		玄 米		試験年次
					株長 (cm)	節長 (cm)	穂数 (本/m ²)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等 級	
上 川 農 試	成苗	たんねもち	7.29	9.24	60	16.7	464	581	118	20.7	2 下	1978～ 1982
		かむいもち	8. 3	9.26	70	15.4	482	493	100	20.0	3 上	
中 央 農 試	成苗	たんねもち	8. 8	9.30	63	17.9	438	470	103	21.3	3 上	1981～ 1982
		かむいもち	8.10	10. 4	69	16.2	523	456	100	20.2	3 中	
原原種農場	成苗	たんねもち	7.31	9.29	59	16.6	435	542	104	21.4	3 上	1980～ 1982
		かむいもち	8. 4	9.30	66	16.3	520	523	100	20.4	3 中	
北 見 農 試	中苗	たんねもち	8. 5	9.29	60	14.3	519	521	134	19.8	2 下	1981～ 1982
		かむいもち	8.10	10. 2	69	15.2	495	390	100	19.5	3 下	
北海道農試	成苗	たんねもち	8. 7	10. 3	69	17.6	405	478	105	20.2	3 中	1981～ 1982
		かむいもち	8. 8	9.29	76	15.4	425	455	100	19.4	3 下	

注) 試験成績はいずれも標準施肥区。

- 参照 1) 北海道農務部編。昭和58年普及奨励ならびに指導参考事項。14—22 (1983)。
 2) 北海道農務部編。昭和59年普及奨励ならびに指導参考事項。6—10 (1984)。
 3) 北海道農務部編。昭和60年普及奨励ならびに指導参考事項。6—9 (1985)。
 4) 佐々木多喜雄，等。北海道立農試集報。50，120—134 (1983)。

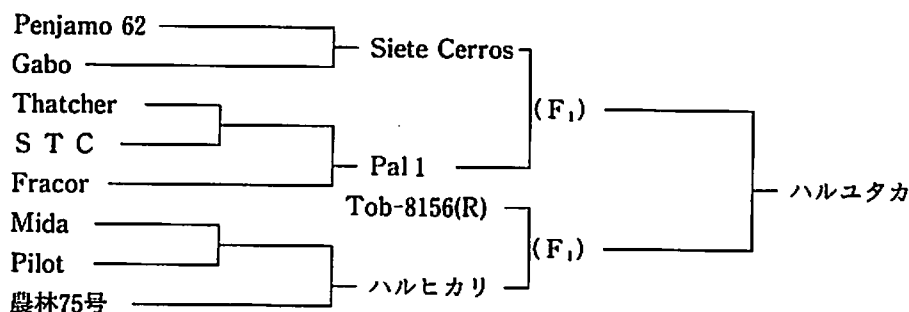
2. 小 麦

〈春播小麦〉

(I) ハルユタカ (旧系統名 北見春47号)

登録番号：(北海道) 小麦北海道春第10号；(農林省) 春播小麦農林130号；(稲苗法)

来歴 本品種は、1972年（昭47）に北海道立北見農業試験場において、「Siete Cerros × Pal 1」を母、「Tob-8156(R) × ハルヒカリ」を父として人工交配を行い育成したもので、1977年（昭52）より「北系春407」、1981年（昭56）以降は「北見春47号」の系統名で各種の試験を行い、1985年（昭60）に優良（奨励）品種に決定した。なお本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要 1. 株は閉じており、葉色は「ハルヒカリ」よりやや濃い。葉身は短いが葉幅が広く、葉身が立つ。

2. 稈長は「ハルヒカリ」より20cm以上短く、茎はやや太く強稈である。穂は錐状を呈して長芒があり、ふ色は黄、穂長はやや短い、粒着は「ハルヒカリ」よりやや密で、1穂の粒数はやや多い。

3. 子実は赤褐色で、長さは「ハルヒカリ」よりやや短い。「ハルヒカリ」より千粒重、1立重はやや軽い、外観品質は「ハルヒカリ」なみである。

4. 中生種に属し、出穂期は「ハルヒカリ」とほぼ同じであるが、成熟期は1～2日遅い。

5. 穂発芽性は「ハルヒカリ」のやや難に対し、本品種は中程度とみられる。

6. 赤さび病、うどんこ病には「ハルヒカリ」より強いが、黒目粒や赤かび病の発生は「ハルヒカリ」よりやや多い。また、耐倒伏性は強である。

7. 収量は「ハルヒカリ」より多いが、生育不良を起す環境下では「ハルヒカリ」より劣ることがある。

8. 粒質は硝子質で製粉性は「ハルヒカリ」よりすぐれる。粉色は「ハルヒカリ」よりやや良好で、パンとしての加工適性は「ハルヒカリ」より劣るが、めんとしての加工適性は、「ハルヒカリ」や秋播小麦「ホロシリコムギ」よりまさる。

栽培適地と奨励態度 適地は全道一円で、「ハルヒカリ」の大部分と、現在栽培されている「農林61号」におきかえる。栽培に当たっては、適期播種、適期収穫を励行し、ドリル播き多肥とする。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	成熟期における			10 a 当り		子 実		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	子実重 (kg)	左比 (%)	1立重 (g)	千粒重 (g)	
北見農試	ハルユタカ	7. 6	8.17	78	8.1	480	303	118	761	34.0	1977～ 1984
	ハルヒカリ	7. 7	8.15	103	8.8	477	257	100	769	35.2	
中央農試	ハルユタカ	6.30	8. 8	82	7.9	504	276	104	732	34.7	1981～ 1984
	ハルヒカリ	6.29	8. 7	103	8.2	512	265	100	751	35.5	
上川農試	ハルユタカ	7. 4	8.15	64	7.3	361	124	89	723	33.0	1981～ 1984
	ハルヒカリ	7. 1	8.12	100	7.4	272	140	100	756	35.2	
十勝農試	ハルユタカ	7. 1	8.14	80	8.0	481	257	149	757	35.5	1981～ 1984
	ハルヒカリ	6.29	8.12	119	7.9	454	173	100	743	32.0	

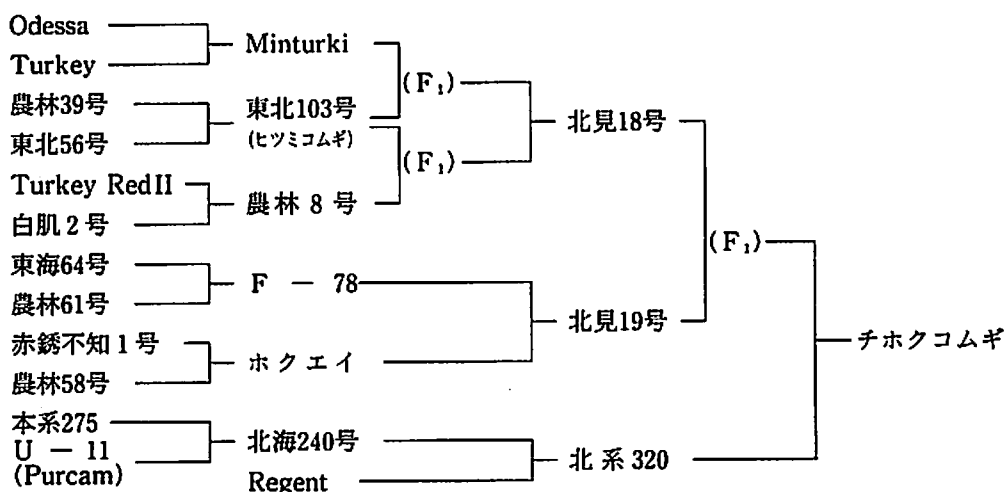
- 参照 1) 北海道農務部編。昭和60年普及奨励ならびに指導参考事項。10—15 (1985)
 2) 牧田道夫, 等。農業技術。41, 27—28 (1986)

〈秋播小麦〉

(2) チホクコムギ (旧系統名 北見42号)

登録番号: (北海道) 小麦北海道秋第9号; (農水省) 小麦農林126号; (種苗法) 第337号

来歴 本品種は、1969年(昭44)に北海道立北見農業試験場において、「北見18号」×「北見19号」F₁を母、「北系320」を父として人工交配を行い育成したもので、1973年(昭48)より「北系747」、1976年(昭51)以降「北見42号」の系統名で各種の試験を行い、1981年(昭56)に優良(奨励)品種に決定した。なお本品種の系譜は次のとおりである。



- 特性概要 1. 稈長は「ホロシリコムギ」より約5 cm 短く、穂長もやや短い、穂数は多い。
 2. 幼苗期の草状は直立型で、葉身は広い。株は閉じて直立型、葉は鮮緑色を呈し、稈は「ホロシリコムギ」よりやや細い。穂は棍棒状を呈し、ふ色は白で芒はなく、粒着は密である。
 3. 子実は「ホロシリコムギ」より淡い黄褐色で、形は短、千粒重は「ホロシリコムギ」より軽いが大粒に属する。1立重もやや軽いが粒張り良く、外観品質は「ホロシリコムギ」よりまさる。
 4. 中生種に属するが、出穂期や成熟期は「ホロシリコムギ」より1～3日遅い。
 5. 耐寒性は、「ホロシリコムギ」なみ、耐雪性(小粒菌核病抵抗性)はやや弱、赤さび病抵抗性は極強、赤かび病にはやや弱い。うどんこ病には「ホロシリコムギ」より弱い。黒目粒の発生は極く少ない。耐倒伏性は「ホロシリコムギ」なみかややまさる。
 6. 収量は、網走や十勝支庁管内では「ホロシリコムギ」なみかややまさるが、冬枯れの発生の多い多雪地帯ではその被害によって減収することがある。
 7. 子実の灰分、蛋白含量はともに低く、粒質は粉状質で製粉適性は高く、粉色はさえた白さを呈し、製めん加工適性は極めて高い。成熟期以後の子実水分乾減が早い、耐変質性はやや弱である。

栽培適地と奨励態度 十勝、網走管内の中でとくに積雪の多い地帯を除く地域に適する。栽培に当っては、雪腐病防除を励行し、品質保持のために適期収穫につとめる。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	成熟期における			10 a 当り		子 実		試験年次
				穂長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	子実重 (kg)	左比 (%)	1立重 (g)	千粒重 (g)	
北見農試	チホクコムギ	6.21	7.30	88	7.2	704	510	107	768	36.6	1976～
	ホロシリコムギ	6.20	7.29	93	8.4	557	478	100	775	42.0	1974
十勝農試	チホクコムギ	6.16	7.26	83	7.3	661	479	101	727	36.1	1977～
	ホロシリコムギ	6.15	7.27	90	8.4	553	473	100	735	42.2	1979
中央農試	チホクコムギ	6.16	7.29	80	8.2	603	373	76	720	35.0	1977～
	ホロシリコムギ	6.15	7.27	94	9.1	659	490	100	757	40.0	1979
上川農試	チホクコムギ	6.20	7.26	72	6.9	386	305	79	733	33.9	1977～
	ホロシリコムギ	6.16	7.26	87	7.6	445	385	100	769	40.9	1979
原原種農場	チホクコムギ	6.19	7.26	73	8.1	171	183	47	749	37.4	1977～
	ホロシリコムギ	6.15	7.23	86	8.7	377	389	100	776	43.1	1978

参照 1) 北海道農務部編、昭和56年普及奨励ならびに指導参考事項、12～17 (1981)。
2) 尾関幸男、農業技術、37、107—112 (1982)。

3. えん麦

(I) アキユタカ (旧系統名 北海21号)

登録番号：(北海道) えん麦北海道第5号；((農水省) えん麦農林5号；(種苗法) 第135号

来歴 本品種は、1967年(昭42)に北海道農業試験場において「カータースラクスタ」を母、「ニュートン」を父として人工交配を行い育成したものである。1974年(昭49)より「本系421」、1976年(昭51)以降「北海21号」の系統名で各種の試験を行った結果、秋播緑肥用に適するものとして1980年(昭55)に優良(奨励)品種に決定した。

特性概要 1. 草型は直立型で初期伸長性がすぐれ、再生力は「モイワ」なみである。

2. 穂長は「モイワ」より長く、穂はやや細く分けつは旺盛で、穂数が多い。穂はバラ穂で芒は少ない。

3. 出穂期は「モイワ」より約2日、成熟期も5日程度早く、早生～中生の早に属する。

4. 耐倒伏性は「モイワ」より劣り、冠さび病に対しても「モイワ」なみで弱い。

5. 初期生育が旺盛なため秋播緑肥用としての乾燥収量は「モイワ」よりかなり多い。しかし普通栽培での子実収量は「モイワ」より15%前後劣る。

6. 秋播緑肥としてのすき込み時における茎葉の無機成分含有率は「モイワ」と大差ない。

栽培適地と奨励態度 秋季の緑肥用として道内一円に適する。また本品種の利用に当たっては、8月中に播種することが望ましく、播種期が遅れたときは播種量を増す。倒伏に弱いので採種栽培では多肥や密植は避ける。

《緑肥利用》

試験場名	品 種 名	播種日 (月・日)	刈取日 (月・日)	刈取時 草 丈 (cm)	10 a 当 り				試験年次
					生草重 (kg)	左比 (%)	乾草重 (kg)	左比 (%)	
北海道農試	アキユタカ	8.25	10.30	85	3,434	143	393	131	1977～ 1979
	モ イ ワ	8.25	10.30	74	2,394	100	301	100	
中央農試	アキユタカ	8.21	10.26	81	3,555	116	393	114	1978～ 1979
	モ イ ワ	8.21	10.26	79	3,075	100	344	100	

《普通栽培》

試験場名	品 種 名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	成熟期における			10 a 当 り		子 実		試験年次
				穂長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	子実重 (kg)	左比 (%)	1 立重 (g)	千粒重 (g)	
北海道農試	アキユタカ	7.5	8.5	111	24	317	352	83	545	36.5	1978～ 1979
	モ イ ワ	7.5	8.10	99	25	279	426	100	550	37.5	

- 参照 1) 北海道農務部編, 昭和55年普及奨励ならびに指導参考事項, 3—8 (1980).
 2) 熊谷健, 等, 北海道農業試験場研究報告, 143, 49—64 (1985).
 3) 熊谷健, 農業技術, 35, 509—510 (1980).

4. とうもろこし

(1) リザ (原名 Liza)

登録番号: (北海道) とうもろこし (飼) 準輸第11号

来歴 本品種は, フランスの Pioneer 社が育成したもので, 1978年 (昭53) 以降原名のまま道内で各種の試験を行い, 1981年 (昭56) に優良 (準奨励) 品種に決定した。三系交雑の一代雑種であるが, 構成系統名は不明である。

- 特性概要 1. 出芽並びに初期生育はほぼ「C535」なみである。
 2. 絹糸抽出期は「C535」とほぼ同じか1日早く, 熟期も「C535」なみかやや早い早生種である。
 3. 穂長, 着雌穂高および穂径は「C535」なみで, 早生品種としては着雌穂高がやや高い。
 4. 耐倒伏性は「C535」なみかやや強い。
 5. すず紋病に対する抵抗性は弱く, ほぼ「C535」なみ, ごま葉枯病に対しては「C535」より弱い。
 6. 収量性は場所による変動はあるが, 概ね「C535」なみと考えられる。

栽培適地と奨励態度 十勝中央部の周辺, 網走の内陸とその周辺, 根釧内陸および道北の内陸など「C535」の栽培可能地帯を適地とする。また栽培上の注意は「C535」に準ずる。

試験場名	品 種 名	絹 糸 抽出期 (月・日)	穂長 (cm)	着雌 穂高 (cm)	収穫時 熟 度	10 a 当 り				乾物中 T D N (%)	試験年次
						生総重 (kg)	乾総重 (kg)	TDN (%)	左比 (%)		
十勝農試	リ ザ	8.3	230	104	黄中～後	4,554	1,284	906	104	70.4	1979～ 1980
	C 5 3 5	8.4	238	104	黄中～後	4,777	1,212	870	100	71.7	